

令和8年4月末日

保護者 各位

こどもプラス
鳥栖教室

児童・保護者に対する安全指導と共有のお知らせ

陽春の候、保護者の皆様におかれましてはご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本教室の支援活動につきましてご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、みなさますでにご承知の通り令和6年4月より「安全計画の策定」を義務付けられており、児童の安全を確保する取り組みを計画的に実施することが求められています。その一環としてお子様への安全指導と保護者様への説明と共有が含まれております。つきましては令和8年度の年間計画を簡単ではございますがお知らせいたします。詳しくは毎月のお便りにてお知らせしてまいりますのでご了承いただきますようお願い申し上げます。

月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
利用児童への安全指導	交通安全指導 遊具・室内遊びルールの確認 食中毒予防	水遊び時の事故防止 熱中症対策	感染症予防 不審者対応	凍結や積雪時の転倒防止 防災について

月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
保護者への説明・共有	<ul style="list-style-type: none">・安全計画及び安全に関する取り組みの内容について、周知を図る。・送迎車利用の際の注意事項について周知を図る。・食中毒、感染症の予防と対策について周知を図る。	<ul style="list-style-type: none">・水あそびや川遊びの際の注意事項について周知を図る。・熱中症、食中毒、感染症の予防と対策について周知を図る。	<ul style="list-style-type: none">・不審者対応について児童に指導した内容について、お便りや連絡ツールを通じて周知を図る。・感染症の予防と対策について周知を図る	<ul style="list-style-type: none">・教室で行っている避難訓練について、お便りや連絡ツールを通じて周知を図る。・道路凍結や降雪の際の安全確認について適宜連絡ツール等を使用し保護者と連携を図る。






以上

大切なお子さんを

交通事故から守るために

こどもの交通事故は、学校生活にも慣れてくる5月～6月頃に増える傾向があります。また、事故の多くは、自宅の近くで発生しています。特に、登下校中の事故が全体の約半数を占めており、お子さんが安心して道路を歩けるようになるためには、ご家庭での交通安全の声かけや見守りがとても大切です。大切なお子さんを交通事故から守るために、ご家庭で心がけていただきたいポイントをお伝えします。

お子さんに**交通ルール**を伝える時のポイント

-  お子さんの特性をひまえ、「お子さん目線」で伝える
-  この先の場面を想定して見守る
-  お子さんがよく歩く場所と一緒に歩きながら伝える
-  わかりやすい表現で、繰り返し伝える
-  日頃から大人が良いお手本を示す

例えば…

- お話や遊びに夢中になると、周りがみえなくなる
- ボールを追いかけて、飛び出してしまう
- 友達や目的地を見つけて、急に走り出してしまう



感情をコントロールすることが難しく衝動的な行動をしてしまうことがあります。その行動が思いがけない事故に繋がることも少なくありません。ぜひご家庭でも日常の中で交通安全についてお話いただければと思います。

事故が起こりやすい場所

飛び出し



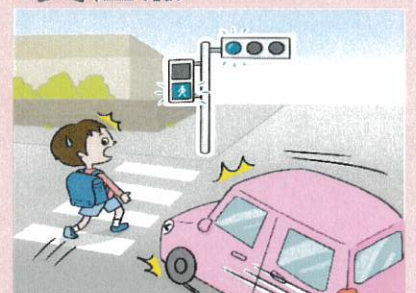
何かに夢中になっている時、校門や公園、家やお店から外に出るときなど、**飛び出しが原因の事故が最も多いので特に注意しましょう。**クルマは急に止まれないことを予めお子さんに伝えておきましょう。

横断歩道



信号が青になっても、**すぐに渡らず、車が止まったのを確認してから渡る**ことが重要です。お子さんは車からは見えにくいので、**手を上げるなど横断する意図をはっきり伝える**ことを繰り返し教えましょう。

交差点



青信号でも車が左折・右折してることがあります。たとえ信号が青でも安心せず、必ず**「止まって」「左右を見て」「何も来てなかったら注意しながら渡る**ことをお子さんに癖付けましょう。

教室での取り組み

- ・ 外出イベントや避難経路の確認に出かけた際に、実際に信号待ちや歩道の歩き方などの指導をしている。
- ・ 静かな活動の時間にフラッシュカードを使って勉強する時間を作っている。

出典：政府広報オンライン

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201804/1.html>